

【つばめの学校】

4月から始まる施設一体型小中一貫教育推進校、南花台小学校と南花台中学校の通称名が「つばめの学校」と決まりました。児童生徒が候補となる名まえを提案し、小中合同でアンケートを実施、さらに保護者や地域のみなさまにもご協力いただきました。ありがとうございました。



平成25年の開校以来、南花台小学校の屋根の上からはつばめの風見鶏が、そして校舎や校門の壁で羽ばたくつばめのデザインが、子どもたちを見守ってくれていました。南花台小学校初代校長黒田良子先生によると、つばめはヨーロッパでは幸運のシンボルであり、渡り鳥の習性から「回帰」「再会」を意味するというので、子どもたちの幸せと温かいふるさとでありたいという願いが込められているということです。風見鶏は一足早く中学校に移設され、中学生を見守りながら、小学生が登校するのを待っています。

第1期工事完了後の校舎の色は、白と濃いグレーを基調にワンポイント的に赤が使われています。色を決めた時期はずいぶん前ですので、つばめを意識しての決定ではなかったはずなのに、出来上がってみれば「つばめカラー」そのものです。

日本でも古くから、つばめが巣をかける家は、無病息災、豊作、商売繁盛など縁起が良いとされています。4月からは小中学生が集い、にぎやかになるこの学校が、安全で楽しい学び舎であり、児童生徒がのびのびと心豊かに成長していく場所となることでしょう。

まもなく3年生が卒業します。つばめの学校から、卒業生は広い世界に羽ばたいていきます。風見鶏はいつも風が吹いてくる方を向いています。向かい風に立ち向かっているように見えます。卒業生も風見鶏のように、強い風に流されず、まっすぐに前を向いて進んでほしいと思います。でも、疲れたときは羽を休めにもどっておいで、ここはあなたたちのふるさとだからね、という思いを込めて、卒業までの残り僅かな日々を大切に過ごしていきたいと思います。

校長 上代婦美子

今年度もあと1ヶ月を残すのみとなりました。

3年生は卒業まであとわずかな日数です。そんな3年生が1・2年生より一足早くリニューアルされた教室へ大移動しました。



横断歩道が設置されました。



正門からまっすぐ行ったところの交差点に横断歩道がつけました。通学路なのに信号も横断歩道もなく危ない場所でした。学校はもちろんですが、地域の方々が何度も横断歩道設置を関係機関にお願いをして下さったおかげでこの度2/22に設置されました。みなさんご安全に！

左のページで校長先生の文章にも出てくる風見鶏。  
みんなを見守っているかようですね

